

# 平成21年度補正予算の執行状況について

環境省

1. **エコポイントの活用によるグリーン家電の普及事業** 1,098億円  
エコポイントによる省エネ家電(エアコン、テレビ、冷蔵庫)の  
買換え促進支援事業
2. **地域グリーンニューディール基金の創設** 550億円  
地域環境保全基金の拡充による地球温暖化対策事業、  
廃棄物処理対策事業、漂流・漂着ゴミ対策事業等の推進
3. **環境ファイナンスに係る投資の加速化** 47.4億円→46.4億円(1)
  - (1) 京都議定書目標達成特別支援無利子融資制度の創設 45億円
  - (2) 金融機関による「環境格付」のための企業調査・  
審査に対する補助制度の創設 2.4億円→1.4億円
4. **地方公共団体等の所有する自動車の低公害化の推進** 35億円→5億円(30)  
地方公共団体等の所有する塵芥車、ゴミ運搬車等の  
低公害車への買換えを促進させるための補助
5. **国の施設のグリーン化等のための施設整備** 5.0億円→2.2億円(2.8)
  - (1) 世界遺産センターのグリーン化等によるCO<sub>2</sub>  
排出削減 2.4億円→1.6億円
  - (2) 生物多様性保全拠点等のグリーン化等による  
CO<sub>2</sub>排出削減 1.3億円→0.6億円
  - (3) 環境調査研修所施設・設備の低炭素化改修 1.2億円→0億円
6. **国立公園等施設の低炭素化等の推進(公共事業)** 65.7億円→41.1億円(24.6)  
皇居外苑壕の水質浄化能力の向上や、国立公園等の  
各種施設の安全確保とグリーン化を促進するための施設整備
7. **単独処理浄化槽転換加速モデル事業等(公共事業)** 10億円  
合併浄化槽への切り替えが遅れている単独浄化槽の  
転換を促進するための施設整備

**8. COP10の円滑な開催に向けた関連事業等の推進 11.7億円→11.5億円(0.2)**

- (1) 生物多様性に配慮した事業活動と地域活性化を促進  
するための生物多様性地方総合展示会開催事業 2.2億円→ 1.9億円
- (2) COP10に向けた科学的基盤の強化及び持続的利用等に  
するためのかかる合意形成のための国際会議開催 1億円
- (3) アジア・オセアニア地域におけるサンゴ礁保全に向けた  
情報基盤整備事業 1.6億円
- (4) 生物多様性情報整備事業 7億円

**9. 環境先端技術等の連携及び活用の推進 18.9億円→18.0億円(0.9)**

- (1) 地域産官学連携環境先端技術普及モデル策定事業 7億円
- (2) 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき(GOSAT)」  
による地球温暖化 問題解決に向けた取り組みの推進 1.1億円
- (3) し尿・浄化槽汚泥からのリン回収・利活用推進  
モデル事業 0.9億円→ 0億円

**10. エネルギーのグリーン化やCO2削減に資する調査等の推進**

**12.9億円→ 8.2億円(4.7)**

- (1) 温泉施設における温暖化対策事業 4.4億円→ 1.8億円
- (2) 小水力発電による市民共同発電実現可能性調査 1億円
- (3) 京都議定書目的達成のための廃棄物部門緊急調査 4.3億円→ 3.3億円
- (4) オフセット・クレジット(J-VET)制度検証等効率化事業 2.1億円
- (5) アジア・太平洋地域における「環境モデル都市」・  
「環境モデル島」の構築調査 1億円→ 0億円

**11. 安心・安全の確保等のための調査等の推進 15.4億円→12.0億円(3.4)**

- (1) 小児環境保健研究プロジェクトの推進 9.8億円→ 7.7億円
- (2) 微量PCB混入廃電気機器等の安心・安全で  
効率的な処理の推進 1.5億円→ 1.1億円
- (3) 単独処理浄化槽を対象とした使用状況実態等緊急調査 3億円→ 2.3億円
- (4) 野鳥における鳥インフルエンザ対策の強化 1.1億円→ 0.9億円

**合 計 1,870.3億円→1,802.6億円  
(執行停止額67.7億円)**

(注1) 四捨五入等の理由により、端数において計数が合致しない場合がある。

(注2) ( )内は執行停止額を示す。単位は億円。